

ニューヨーク育英学園

Japanese Children's Society

ニューヨーク育英学園のミッション



学園のミッション

ニューヨーク育英学園は、「世界に羽ばたけ NY育英っ子！」
を合言葉に、
『日本の学校以上に“日本を理解”』し
『現地校以上に“ニューヨークを体験”』できる
そのなかで、常に自分らしい目標に向かって、一生懸命に
『挑戦・失敗・挑戦を繰り返すことができる』
それがニューヨークならではの日本教育です。

日本文化やその価値観を深く理解しながら、
「世界の縮図」であるニューヨークの多様性を体験し
相対的な視点（文化・価値観の違い）と
受容力（多様性を尊重する力）を
身につける教育です。

子どもたちが『日本』と言うルーツを軸に
文化・言語的多様性を学び、
自分らしく世界に踏み出してゆける力を育むこと。

それが私たちの使命です。

学園の3つの「教育」の柱

① 知識教育

- 日本の文部科学省の学習指導要領に準拠したカリキュラムで、確かな学力を育成する
- ニューヨークという多様性に富んだ環境を生かし、世界の価値観・社会・文化を理解する力を養う
- 世界と日本を相対的に捉える視点を培い、日本をより深く理解する学びを重視する

② 実践教育

- ニューヨークの特性を生かし、異文化環境での体験を通して、日本では得難い「日本体験」へとつなげる
- 国際機関・企業・地域との連携や校外学習、特別授業を通して、教室での学びを実社会と結びつける
- 多様な分野で活躍する日本人・日系人や文化施設の集積を生かし、日本文化への理解を深める機会を創出する

③ 人間教育

- 多様な国籍・文化・言語背景をもつ仲間との学校生活を通して、異文化への理解を深め、互いを尊重する心を育む
- 多様性の中で対話と協働を重ねる経験を通して、グローバル社会に求められる柔軟性・受容力・協働力を培い、社会の中で生きていく力を身につける
- 挑戦する姿勢を大切にし、失敗を前向きに受け止めながら、粘り強くやり抜く力を育成する

学園長あいさつ





ニューヨーク育英学園
学園長

武田　秀俊
(たけだ ひでとし)

Japanese Children's Society
Principal
Hidetoshi Takeda

未来に向けて新たなるチャレンジ

ニューヨーク育英学園は、海外という環境の中でも子どもたちが安心して学び、自分のルーツを大切にしながら、未来へ向かって力強く歩んでいけるよう支えることを使命としてまいりました。

ニューヨークという多様性に満ちた社会の中で、日本の言葉や文化を学ぶことには、「継続する」だけではなく、世界の中で自分自身を見つめ直し、将来につながる視点や感覚を育てるという大きな意味があります。

そのためにニューヨーク育英学園では、ニューヨークという環境を活かしながら、知識教育・実践教育・人間教育3つの教育を柱に学びを組み立てています。

私たちは、子どもたちが日々「一生懸命になれる」ような環境づくりをとても大切にしています。安心して学び、挑戦し、失敗し、また挑戦できる。その積み重ねこそが、子どもたちの自信となり、未来を切り拓く力になると信じています。

また、ニューヨーク育英学園の教育は教職員だけでつくるものではありません。保護者の皆さま、卒業生、地域、そして学園を支えてくださる多くの方々の存在によって支えられ、学園はこれまでも、そしてこれからも成長していきます。

今後とも、ニューヨーク育英学園への温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日系人コミュニティとともに歩んでもうすぐ創立50周年

45年を超える伝統と、進化し続ける学園へ

1979年にニューヨーク州マンハッタンで創設されて以来、ニューヨーク育英学園は45年以上にわたり、日系人コミュニティとともに日本語教育の重要性を発信してきました。

1989年にはニュージャージー州イングルウッドクリフスへ移転し、全日制幼児部・小学部の一貫教育を行う米国東海岸唯一の教育機関へと発展しました。

現在は、幼稚園から高校生までを対象に4キャンパスで教育を展開。全日制に加え、週末補習校やアフタースクール、サマーキャンプなど多様なプログラムを提供し、累計在籍生は1万人を超え、卒業生は世界各地で活躍しています。

今、私たちは伝統を大切にしながら、
「教育の質の向上と可視化」「NYならではの体験教育の深化と継続性」という課題に向き合い、
さらなる進化を目指しています。

1979
創立

創成期
米国東海岸唯一の幼小一貫の
全日制日本人学校として成長

1979　日本語プレイグループをニューヨーク市グリニッジビレッジで開始

1984　ニュージャージー州リッジフィールドに移転　全日制部門幼児部開設

1986　全日制部門小学部開設

1989

拡大期
日本語補習校部門開設・キャンパス拡大

1989　現在のNJ校舎（ニュージャージー州イングルウッドクリフス）へ移転

1993　学園名を「ニューヨーク育英学園」に改称

1993　サタデースクールニュージャージー校開設

1997　サタデースクールマンハッタン校開設

2000　サタデースクールポートワシントン校開設

2005　保育部門「きりんのへや こども園」開設

グローバル時代に活躍する子どもたちのために

グローバル展開期
海外日本人学校のリーダーとなるべく
様々なプロジェクトを展開

2009

2029

2009
創立30周年を記念し、第一回「トリエンナーレ自由の女神アート作文コンクール」開催
※以降3年おきに開催　*第6回（2025年度）

2011
全日制小学部（NJ校）に独自のバイリンガルメソッド（『金曜１日英語の日』・週10時間の英語教育）導入

2013
日本からのサマーキャンプ留学招待開始
（第一回：東日本大震災被災児童を招待）

2016
NY国連連合本部にて国連平和の鐘記念式典に全日制小学部（NJ校）参加

2019
ダブルダッチチーム、全米大会で優勝

2025
全日制部門（NJ校）の日本語通称を「NY育英インターナショナルスクール」に改名

2029
創立50周年（予定）

母国語教育を基盤に、
グローバル社会に通じる語学力を育成



日本、アメリカ、そして世界を
“体験”できる教育環境の提供

アート・音楽・スポーツを通じた
自己表現と挑戦の機会を創出



学園主催の第５回トリエンナーレ自由の女神アート作文コンクール絵画部門グランプリ 平山郁夫大賞受賞作品
「がいこくへレッツゴー！」
Sさん（年長）



ダンスクラブ

マンハッタンのジャパンパレードにて、大勢の観衆を前にダンスを披露
2026年5月



ダブルダッチチーム

AMJRF National2026で
計43個のメダルを獲得
2026年6月



育英音楽教室歌唱クラスのYさん

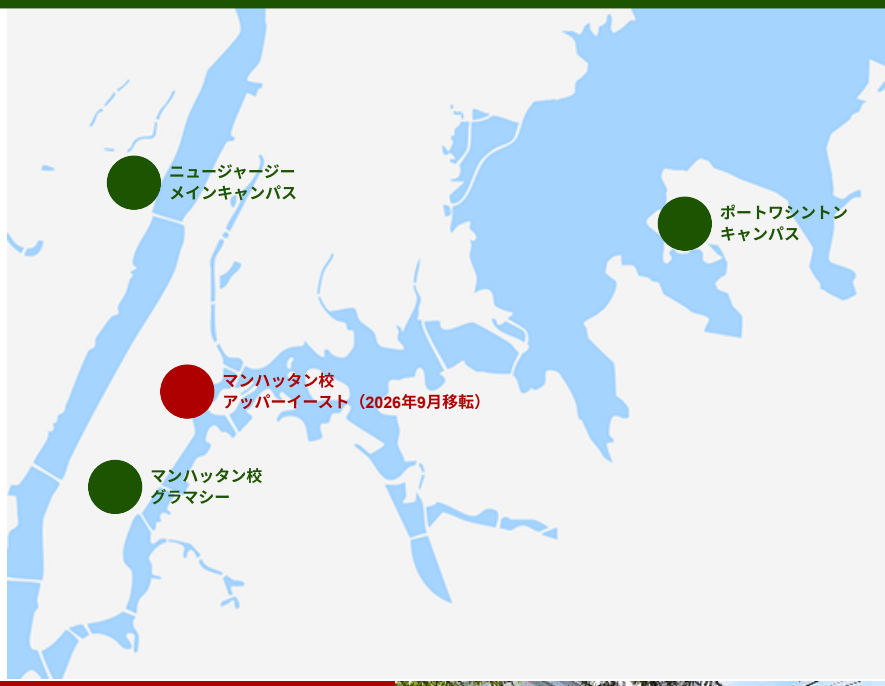
マンハッタンのミュージカル公演にて「Annie Kids!」子役に挑戦
2025年6月

４つのキャンパス

ニュージャージー州(Englewood Cliffs)のメインキャンパスを中心に、４つのキャンパスで、2.5歳児から高校生まで、700人以上が学んでいます。

マンハッタンの近くに、自前の校舎を持つ日本人学校として、今後は、子どもたちだけでなく、保護者や地域コミュニティとも結びつく「地域のハブ」を目指します。

マンハッタン校アッパーイーストは2026年9月に移転したばかりの学校です



ニュージャージーメインキャンパス

New Jersey Main Campus

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632

(201) 947-4832

- NY育英インターナショナルスクール*（全日制日本人学校）dayschool@nyikuei.org
- 育英サタデースクール・ニュージャージー校 satnj@nyikuei.org
- アフタースクールクラブ・語学教室・音楽教室　afternj@nyikuei.org
- サマースクール*　summer@nyikuei.org

＊全日制･サマーは学園スクールバスでマンハッタン、北東NJエリアより通学可















マンハッタン
アッパーイーストキャンパス

借用校:Temple Israel New York:
112 E 75th St, New York, NY 10021

- フレンズアカデミーウィークエンドスクール
  (201) 947-4832　friends.weekend@nyikuei.org

マンハッタン
グラマシーキャンパス

借用校:Nord Anglia International School:
111 E 22nd St, New York, NY 10010

- 育英サタデースクールマンハッタン校
  (201) 947-4832　satm@nyikuei.org

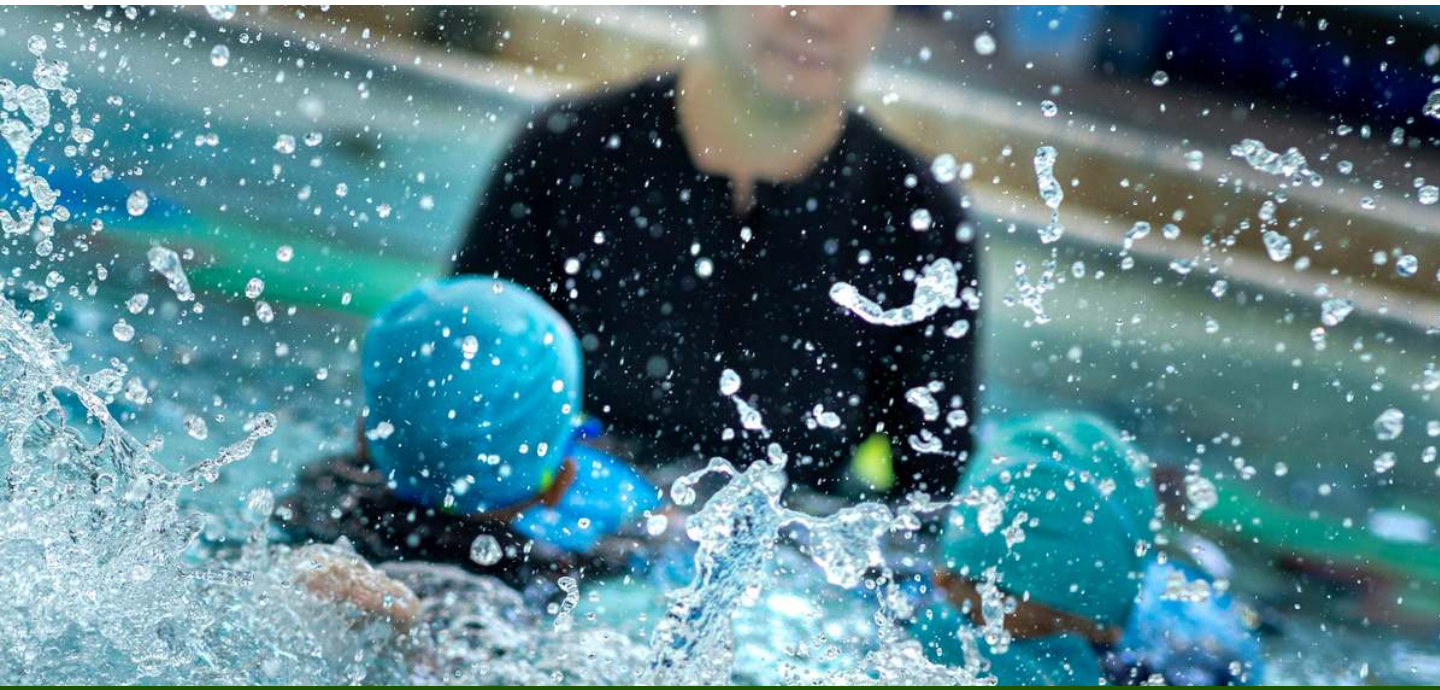
ポートワシントン
キャンパス

借用校:Carrie Palmer Weber Middle School:
52 Campus Dr. Port Washington, NY 11050
平日事務局：8 Maple Street #6, Port Washington NY 11050

- 育英サタデースクールポートワシントン校
  (516) 767-3139(月･金) satpw@nyikuei.org

各キャンパスのプログラムとその対象

**当地における多様化する日本語教育ニーズに応え、全日制教育に加え、
週末補習校、アフタースクール、サマースクールなど幅広い学びの機会を提供しています。
幼児・小学生を中心に、2.5歳児から高校生までを対象に、
日本とアメリカ、そして世界をつなぐ教育を実践しています。**



NY育英インターナショナルスクール



私立インターナショナルスクール全日制日本人学校として

ニューヨーク育英学園は、1984年に全日制部門を開設して以来、米国東海岸では唯一の幼小一貫全日制日本人学校として、多くの子どもたちを支えてまいりました。そして2024年12月、開設40周年を機に、全日制部門を「NY育英インターナショナルスクール」へと改称しました。

名称は変更となりましたが、本校が文部科学省の定める「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」に準拠したカリキュラムを提供する、全日制の日本人学校であることに変わりはありません。また、日本国内のいわゆるインターナショナルスクールのように、英語のみの教育へ移行するものでもありません。

今回の改称は、日本人学校としての基盤を大切にしながら、独自のカリキュラムに基づく体系的かつきめ細やかな英語教育を推進していることを、より明確にお伝えするためのものです。在外教育の選択肢は一般に「日本人学校」「現地校」「インターナショナルスクール」の三つに大別されますが、本学園はそのいずれか一つに限定される存在ではありません。それぞれの特長を生かした独自の教育を実践する、バイリンガルを育てる「インターナショナル日本人学校」として、これからも教育活動を続けてまいります。

特色

- 幼児部から小学部までの一貫教育による安定した基礎学力の育成
- 文部科学省学習指導要領に準拠したカリキュラムと、独自のバイリンガルメソッドによる国際社会で通用する英語力の育成
- 少人数制による家庭的な環境の中で、のびのびと学習
- 日米両国の教育事情に精通した教員によるきめ細やかな指導
- 学園所有のスクールバスを運行し、マンハッタンや自家用車を持たない家庭からの通学にも対応

NY育英インターナショナルスクール　きりんのへや こども園



■基本方針

明るく素直でのびのびとした子の育成
自ら経験し、考えることによって主体性を育てる

■保育目標

- 元気に挨拶、仲良く遊ぶ
- 日本語の環境の中で言語の獲得を促す
- 自分で身の回りのことができるようになる
- 基本的な生活習慣を身につける

■特色

- **フレキシブルな長時間対応**
  朝7時30分から夕方6時まで開園。スクールバスも幼児部の時間に合わせて運行

- **日本語による保育**
  紙芝居や絵本の読み聞かせ、日本の歌や手遊びを通して、日本語の豊かな表現力と楽しさを自然に身につける

- **多彩なプログラム**
  折り紙、ダンス、音楽、アート、運動遊び、散歩、ひらがな・数あそびなど。四季や自然を感じる行事も充実

- **日本の文化や伝統行事**
  こどもの日、七夕、お月見、七五三、もちつき、節分、ひな祭りなどの活動を通して、日本の四季と伝統文化に親しむ

- **少人数でアットホームな環境**
  一人ひとりの年齢や個性に応じて丁寧に対応。体育室やプレイグラウンドを活用し、のびのびと過ごせる環境を提供

時間	主な活動
7:30-9:00	早朝保育
9:00-10:00	登園　自由遊び
10:00-10:30	朝の会
10:30-11:30	朝の活動
11:30-12:15	昼食
12:15-1:00	午後の活動①
1:00-2:30	お昼寝
2:30-3:00	おやつ
3:00-3:50	午後の活動②
3:50-4:00	降園
4:00-6:00	延長保育



NY育英インターナショナルスクール　幼児部



■基本方針

明るく素直でのびのびとした子の育成
自ら経験し、考えることによって主体性を育てる

■保育目標

- 日本語による環境での保育により言葉の獲得と思考力の発達を促す
- 基本的生活の自立を図る
- 社会生活の基盤を培う
- 友達とのかかわりを通して情操を育てる
- アメリカ文化や特性に触れることによって、視野を広げ国際的感覚の芽を培う

■保育内容

- 文部科学省が定める幼稚園教育要領及び保育5領域に準拠した保育内容に加え、豊かな日本語に包まれた保育
- 1クラスに担任と副担任の二名体制によるきめ細かな保育
- 英語ネイティブスピーカーを含む専門教師による、毎日培う英語力の基礎の育成
- 音楽・アート等各分野における専門教師による情操的教育

■専科

英語（毎日の英語、金曜バイリンガルの時間、英語アート）
ミュージック、アート、数遊び、運動遊び、折り紙指導等

■その他の活動

遠足、園外活動（森の幼稚園等）、水泳教室（年長）、クッキング、放課後クラブ活動（水泳、サッカー、ダブルダッチ、ダンス、テニスクラブ、ESL、音楽教室）

時間	主な活動
8:45-9:00	登園
9:00-9:30	自由活動
9:30-10:00	朝の会/英語の時間
10:00-11:30	午前の活動
11:30-12:30	昼食
月～木12:30-1:00　金*	午後の活動①
月～木1:00-2:00　金*	午後の活動②/年少中：お昼寝
月～木2:00-2:30　金*	帰りの活動
月～木2:30-2:40　金*	降園
**希望者のみ～4:00　金*	ベビーシッタールーム

金曜日：全クラスバイリンガルの時間、月に１回全クラス英語アート　降園1:00　ベビーシッタールーム4:00まで



NY育英インターナショナルスクール　小学部



■基本方針

のびのびと学び、自ら鍛える子の育成
豊かな心を育てる国際理解教育

■教育目標

- 主体的に学習する姿勢を育成し、基礎学力を身につけ、柔軟な思考力を養う
- 団体生活の中からお互い励まし助け合う態度を育てる
- 体力の向上を図り、明るく楽しい生活を送る
- 国際的視野を持つ、豊かな人間形成を図る

時間割

時間	活動内容
8:45-9:00	登園・朝自習
9:00-9:10	朝の会
9:10-12:20	午前の授業（1～4時限）
12:20-1:00	昼食・昼休み
月～木1:00-3:10　金*	午後の授業（5～7時限）
月～木3:10-3:30　金*	掃除・帰りの会・下校

※各時限の間に休み時間あり
※**金曜１日英語の日**（1～6時限）：朝の会から下校まで英語科教師が英語で担任を務める　下校2:40

■特色

- 文部科学省の定める教育基準に準拠
- 学園独自のバイリンガルメソッドで育む確かな英語力
- 一人ひとりに寄り添う指導で「考える力」を伸ばす
- 音楽・アート等、専門教師による情操教育
- 地域に根ざした充実した体験学習

授業時数（週）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	9	9	7	7	6	6
算数	5	5	5	5	5	5
社会	3 生活	3 生活	3	3	4	4
理科			3	3	3	3
英語	10	10	10	10	10	10
音楽	2	2	2	2	2	2
図工	2	2	2	2	2	2
家庭	-	-	-	-	2	2
保健体育	3	3	2	2		
総合/特別活動						

※年間授業日数189日、１単位時間40分
※各教科において、パソコン・タブレット・スマートボードを用いた最新テクノロジー教育を導入
※放課後クラブ活動として、野球、サッカー、水泳、ダンス、ダブルダッチ、器械体操、ESL 等
※その他放課後に音楽教室、語学教室、書道教室等

幼児部の英語　ー毎日の英語とプリクロスメソッド

【目標】日常生活での簡単な会話ができる
身の回りのものを英語で言える
英語のリズム・音に慣れる

【特徴】

- 「第二言語習得には母語の確立が重要」との理論に基づき、日本語を基盤とした保育を実施
- 母語を育みながら、アメリカ人英語講師とともに毎日英語活動を行い、自然に英語に親しむ環境を整備
- 小学部「金曜一日英語の日」への準備・プリクロスメソッドとして、全クラスで毎週金曜日にバイリンガルの時間を実施。英語ネイティブ講師と日本人保育者が連携し、日本語と英語の両方に触れる環境を提供
- 各クラス月1回、金曜日に英語アートを実施し、長時間英語で過ごす経験を積み重ねる





小学部の英語　ークロスメソッドによる本格的英語教育

【目標】クロスメソッドで、真のバイリンガルを育成

【特徴】

- **クロスメソッド～Cross Methodの導入**
  「毎日の英語」と「金曜一日英語の日」を特徴とする学園オリジナルバイリンガルメソッドを2011年より導入。
  1週間の中で十字（クロス）を描くような時間軸の中で、スポーツトレーニングのような基礎力定着と
  応用・実践の学習効果が得られる。週3分の2を日本語、3分の1を英語で学習し、
  週に10コマの本格的英語教育を実施

  ■**毎日の英語**：[基礎力定着型学習]
  月～木曜日は、少人数レベル別クラスで、英語の基礎力を磨く

  ■**金曜一日英語の日**：[応用・実践型学習]
  金曜日は、英語教師が担任として、朝の会から帰りの会まで現地校のように丸一日英語で過ごす。
  午前中は学年を考慮した縦割りレベルクラスで、「聞く」「話す」「読む」「書く」の４技能を強化。
  午後は学年別に理科、社会、アート、音楽などを英語で学習

- **レベル別クラスと充実の教師陣**
  子どもたちの英語のレベルおよび学年を総合的に判断し、クラス分けを実施。
  さらに、日本語・日本文化に精通したネイティブ英語教師
  および日英バイリンガル教師による少人数制の充実した授業を展開

- **季節の行事を取り入れた多彩なアクティビティ**
  ハロウィーン、サンクスギビングなど、アメリカならではの季節の行事のアクティビティを取り入れながら、
  楽しく英語と米国文化を学習。学園祭でも全学年英語劇や歌を披露



NY育英インターナショナルスクールの年間行事



１学期

4
- 入園・入学式
- 始業式
- 春の遠足
- 水泳教室～６月
  ＊幼児部は年長のみ
- 個人面談･懇談会

5
- こどもの日の集い（幼）
- 運動会（小）
- 保育参観（幼）

6
- 移動教室（小3,4）
- 終業式

２学期

7
- 夏休み
  ※サマースクール

8
- 始業式
- 移動教室（小1,2）
- 秋の遠足（小）

9
- 移動教室（小5,6）
- 運動会（きりん・幼）
- 個人面談（小）




















２学期

３学期

10

- 育英バザー
- ハロウィーンパーティー
- 保育参観・懇談会（幼）

11

- 次年度募集要項発表
- 学園創立記念日
- 学園祭

12

- 次年度説明会
- 次年度登録開始
- 年末お楽しみ会
- 終業式

1

- 始業式
- 書き初め大会（小）
- もちつき大会
- スケート教室（小）
- 入園・入学審査
- 懇談会・授業保育参観

2

- 入園・入学オリエンテーション
- 節分の集い（幼）
- 縄跳び大会（小）
- 卒業レストラン（小）

3

- 卒業式・卒園式
- ひなまつりの集い（幼）
- 卒業生を送る会（小）
- 卒園レストラン（幼）
- 終了・修了式

























4つのキャンパスでの日本語補習校プログラム

平日現地校に通う幼児から高校生までの子どもたちが、週末に補習校に集い、文部科学省の定める教育基準に沿った学習のできるプログラムを4つのキャンパスで展開しています。

育英サタデースクール ニュージャージー校



1993年に土曜補習校として設立された育英サタデースクールニュージャージー校は、学園で最も長い歴史を持つ補習校として、幼児から高等部まで日本の教育要領に沿った保育・授業を行っています。
本園のメインキャンパスであるNJキャンパスにおいて、専用校舎と広い園庭を活かし、日本の学校に近い雰囲気の中で学べる環境を提供しています。
幼児部では季節の行事や日本の言い回しに触れながら、生きた日本語への感覚を育みます。
小学部・中学部・高等部では、アメリカの学校生活と両立できるよう、教科書に基づいた授業を中心に、無理なく続けられる学習習慣づくりを大切にしています。週一回の学びの場でありながら、子どもたちにとって「母校」と感じられる温かい学校であり続けられるよう努めています。

対象：幼児部年中～高校2年生　*日本式学齢の学年別クラス



部門	学年	時間	教科時限数（小～高）
幼児部	年中、年長	9:20～14:20	日本の行事を多く取り入れた、楽しく学べる活動
小学部	1～6年	9:20～14:40	国語-2　算数-2　*理･社-各隔週１（1､2年は生活-１）体育１　音楽-各学期-2
中学部	1～3年	9:20～15:00	国語-2　数学-2　社会-2　理科・音楽-各学期-2
高等部	1、２年	15:45～18:05	国語-1　数学-1　*各70分

放課後クラブ活動（小・中学生）：サッカー、室内球技、野球、卓球、ダンス、アート、書道



週末日本語補習校プログラム

育英サタデースクール マンハッタン校



育英サタデースクールマンハッタン校は、多様な背景のお子さまが週一回、日本語と学びに向き合える補習校です。
幼児部では季節の行事や日本ならではの言葉に触れながら感性を育て、小学部・中学部では学習指導要領に基づく授業を丁寧に行っています。
書写クラブや自習室など放課後の活動も充実しており、学びのリズムを整えやすい環境です。「大変なときもあったけれど、卒業時の達成感は代えがたい」という保護者の声を励みに、これからも子どもたちの挑戦と成長を温かく支えてまいります。

対象：幼児部年中～中学3年生

部門	学年	時間	教科時限数（小～高）
幼児部	年中･年長	9:05～14:10	日本の行事を多く取り入れた活動
小学部	1・2年	9:05～14:20	国語-2 算数-2 生活-1 体育1
	3・4年		国語-2 算数-2 理科・社会-各隔週1 体育1
	5・6年		国語-2 算数-2 理科-1 社会-1 体育-月1
中学部	1～3年	9:05～14:50	国語-3 数学-2 社会-1
放課後クラブ活動（小・中学生）：書写クラブ　自習室 **3歳児クラス**（2026年度より開講）デイケアプログラム			



育英サタデースクール ポートワシントン校



育英サタデースクールポートワシントン校は、日本人家族が多く住む地域に位置し、設備の整った借用校で安全かつ落ち着いた学習環境を提供しています。幼児部から高校生まで幅広い学年が在籍し、年間を通して日本の行事に触れながら、日本文化への理解を深めています。授業では、挨拶や礼儀、言葉遣いなど、日本の美しい習慣が自然と身につくよう丁寧に指導しています。
週一回の限られた時間だからこそ、日本と現地校それぞれの良さを感じ、自分のアイデンティティを考える大切な学びの場となっています。子どもたちが安心して挑戦し、自信を育む学校であり続けられるよう努めてまいります。

対象：幼児部年中～高校2年生

部門	学年	時間	教科時限数（小～高）
幼児部	年中･年長	9:00～14:10	日本の行事を多く取り入れた活動
小学部	1・2年	9:00～14:40	国語-2 算数-2 生活-1 体育1
	3・4年		国語-2 算数-2 理科・社会-各隔週1 体育1
	5・6年		国語-2 算数-2 理科-1 社会-1 体育-月1
中学部	1～3年	9:00～15:00	国語-2 数学-2 社会-2　理科・音楽-各学期-2
高等部	1、２年	9:00～15:00	国語-2 数学-2 課題研究-2
放課後クラブ活動（小・中学生）：硬筆書写クラブ、ダンスクラブ			



週末日本語補習校プログラム

フレンズアカデミー ウィークエンドスクール



フレンズアカデミー・ウィークエンドスクールは、子どもたちが安心して学び、自分らしさを発揮できる環境を大切にする週末スクールです。マンハッタンの通いやすい立地で、土曜・日曜の半日クラスを開講し、国語と算数の基礎力をしっかり育てます。異学年が共に学ぶ国語教室では、日本語や日本文化に触れながら、互いに刺激し合う学びが広がります。少人数制ならではの丁寧なサポートで、一人ひとりのペースや興味に寄り添い、ご家庭のニーズにも柔軟に対応します。子どもたちが学ぶ楽しさを感じ、自信を育める場所であり続けることを目指しています。

対象：幼児部年少〜中学生
開講曜日：土曜日・日曜日
*各曜日、午前または午後クラス

クラス	学年	時間	保育・授業内容
幼児部	3歳〜年長	I 9:30〜12:00　II 13:30〜16:00	日本の行事を多く取り入れた、楽しく学べる活動
小学部（国語算数教室）	1〜6年	I 9:15〜12:30　II 13:15〜16:30	小学生学年別
国語教室I	小学生中心・異学年合同	I 9:30〜12:00　II 13:30〜16:00	お子様の日本語の学習レベルに合わせた少人数クラス
国語教室II	中学生中心・異学年合同	I 9:30〜12:00　II 13:30〜16:00	お子様の日本語の学習レベルに合わせた少人数クラス

GOALプログラム

「GOAL」は、海外子女教育振興財団（JOES）が在外教育施設と協働してオンラインで授業等を提供する学びのプラットフォームです。GOALは、Global Online Academy LEAD　〜 LEAD：Learn, Empower, Achieve and Dream 〜　の略称であり、子どもたちが、自分の学びを自分でリードする“Lead your learning, Find your GOAL !!”をブランドメッセージとして推進しています。

ニューヨーク育英学園のGOALオンラインプログラムでは、世界中どこからでも参加できるオンライン学習を通して、学力や語学力の向上だけでなく、文化への理解や仲間とのつながりを深める機会を提供していきます。

プログラムのご紹介
ニューヨーク育英学園では、３つのGOALオンラインプログラムを提供しています。
補習校プログラム（幼児部・小学部）
日本語・日本文化プログラム（I・II・III）
英語・アメリカ文化プログラム（I・II・III）

アフタースクールプログラム

平日の放課後、NJキャンパスにて、各種スポーツクラブ、音楽教室、語学教室を開講しています。
在籍生に限らず、外部の幼児・児童・生徒も参加可能。音楽・語学教室は保護者も受講可能です。







スポーツ @NJキャンパス

クラブ	対象
サッカー	幼児、小学生
体操	幼児、小学生
野球	小学生
ダブルダッチ	幼児から高校生
ダンス	幼児、小学生
テニス	幼児、小学生
水泳	幼児、小学生

音楽教室

教室	対象	キャンパス
ピアノ	4歳以上〜大人	NJ
歌唱	4歳以上〜大人	NJ
ギター	4歳以上〜大人	NJ

語学教室

教室	対象	キャンパス
ESL	幼児、小学生	NJ
書道教室	幼児〜大人	NJ
チュータリング *英会話、英検対策、日本語補習他	幼児〜大人 *プライベート、セミプライベート	NJ、オンライン家庭訪問

ダブルダッチチームはAMJRF National2026で43個のメダルを獲得しました！



サマースクール　＆　スキープログラム

ニューヨーク育英学園ニュージャージーメインキャンパスでは、本学園独自の教育メソッドを生かし、子どもたちの好奇心を引き出す工夫を随所に取り入れた多彩なサマープログラムを、毎年開催しております。

幼児部サマースクール

対象：未就園~年長

- 日本語に触れたい
- 思いっきり水遊びをしたい
- 日本の文化を体験したい

ウキウキ、ワクワクがいっぱいのプログラムで夏休みを満喫しよう！　年中・年長は本格的な水泳指導あり！



小学部サマースクール

対象：小学１~６年生

- リーダーシップを養いたい
- チームワークを学びたい
- 日本の文化に触れたい

ほぼ毎日の水泳の他、理科の実験、アート、歌、クッキング、各種スポーツ、 フィールドトリップなど盛りだくさん！



英語語学サマースクール

対象：小学１~６年生

- 英語力を伸ばしたい
- 集中して英語に触れたい
- 現地校への準備をしたい

朝はじっくり勉強、午後はスポーツやゲームで元気に遊びながら学ぶ。担当は日本語も話せる英語のネイティブスピーカーなので英語初心者も安心！



野球教室

対象：小学１~６年生

- 運動能力を向上させたい
- 外でたくさん遊びたい
- 運動不足を解消したい

野球教室を通して、基礎体力をつけ、総合的な運動能力を高めよう！！



キャンプ@Lake Greeley

対象：小学１年~中学３年生

- 大自然の中で遊びたい
- 非日常の体験をしたい
- 自立した生活をしたい

世界中からキャンパーが集まる本格的な現地サマーキャンプで多彩なアクティビティにチャレンジ！　日本人教員の引率なので安心！



プログラム	開催期間
幼児部サマースクール	前期：３週間　後期：２週間
小学部サマースクール	前期：３週間　後期：２週間
英語語学サマースクール	前期：３週間　後期：２週間
野球教室　＊放課後	前期：３週間　後期：２週間
キャンプ@Lake Greeley	２週間
宿泊スキーキャンプ	第１回：12月末　第２回：２月半ば
日帰りスキー教室	全４回（１～２月）
親子日帰りスキーツアー	*詳細はHPをご覧ください。

スキープログラム

対象：小学１年~中学３年生

- 経験豊富な講師による本格的な指導
- 学園のスクールバスでスキー場まで移動（移動90分）
- 引率者はスキー経験豊富なスタッフ
- 日本語によるレベル別グループ指導
- スキー用具レンタル可
- マンハッタン在住者向けバス送迎サービスあり

スキーリゾートに近い立地を生かし、毎冬スキー教室を開催！
単なるスポーツ体験やレジャーではなく、グローバル社会を生きる子どもたちのための、学校教育の一環と位置づけ、日本的な教育と国際的な経験を融合させた“生きた学び”を提供します！



外部企業・団体との協業による更なる教育環境の充実



日本人学校間での連携強化

- **NY育英学園・ニューヨークNY日本人教育審議会・海外子女教育振興財団の３団体による教育交流連携協定に調印@NJキャンパス**

（2025年2月22日）

日系コミュニティとの連携強化



指揮者・伊藤玲阿奈氏を迎え、特別音楽授業



ENEOS Americaによる出張授業



大戸屋による「おにぎりワークショップ」



フジサンケイグループ放送局見学



JAL職員による出張授業



北米三菱商事社長を招き特別授業

地域との連携強化



地域の子供達と餅つき交流



Englewood Cliffs市長による表彰式



地域向けバザー開催

「母校＝母港」として

NY育英学園は、子どもたちにとって「学びの場」であると同時に、海外生活の中で安心して立ち戻れる 母港（Home Port）のような存在でありたいと考えています。

保護者にとっては、教育・進路・生活の不安を相談できる場
卒業生にとっては、いつでも戻れる「母校」
地域にとっては、日本文化と教育をつなぐハブ

その役割を、これからも広げていきます。



卒業生・保護者の声

尾関 日茉里さん　Himari Ozeki

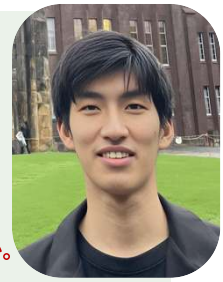


在籍年：2008〜2015年
全日制(現インター) 年長〜小6
日本帰国後、早稲田実業中等部、早稲田実業高等部、早稲田大学をへて、
2025年春より総合商社入社

Q. 日本帰国後、学園での経験はどのように活かされましたか。
A. 日々の授業ではもちろん、現地の学校や機関との交流などを通して人前で発言する経験を得ることができました。また、児童の転出入が多かったため、違う環境で生活していた人とすぐに仲良くなれる力が身につきました。これらを活かして、日本帰国後は学級委員や生徒会長など、先頭に立って人をまとめる役割を務めました。

Q. 日本語力と英語力について、ニューヨーク育英学園での学習経験の影響を踏まえてお聞かせください。
A. 両言語をバランスよく学ぶことができました。アメリカに7年住みながらも、帰国後は私立の日本の中学で問題なく日本語を使え、英語に関しても、学園で毎日の英語の授業や金曜英語を通じて英語力を伸ばすことができたので、大学や就職で活かせるだけの英語力が維持できています。

前田 星冴さん　Shogo Maeda



在籍年：2012〜2015年
全日制(現インター) 小4〜小6
2016年日本帰国、
東京大学工学部でロボット研究
2025年春より同大学大学院にて研究継続中

Q. 学園生活で思い出に残っていることは何ですか。
A. 全日制の生活は楽しい日々の中に貴重な経験をするチャンスがいくつも散りばめられていて、今では考えられない体験をしていたのだと帰国してから気づきました。金曜英語の日や校外学習では異文化を知り、交流することができました。みんなで仮装するハロウィンパーティは特に印象深く、日本人学校に通いながら、アメリカ文化を最大限感じられた3年間でした。

Q. NY育英学園で得たものは何ですか。
A. 学園生活で得た一番の宝物は友達です。帰国後も同級生とは連絡を取り合い、年に数回集まって育英での思い出話に花を咲かせています。また在籍中はダブルダッチチームに所属し、アポロシアターの舞台に立つ貴重な経験をしました。大学でもダブルダッチを続け、日本予選を勝ち上がって2度アポロシアターに再挑戦することができました。遠征の際には懐かしい学園を訪れ、先生方と再会できたのも嬉しい思い出です。

植村 彬子さん　Akiko Uemura

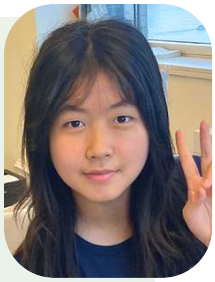


在籍年：2000〜2010年（年中〜中3）
育英サタデースクールマンハッタン校
2017年コロンビア大学卒業
2025年イエール大学大学院博士課程卒業
2025年9月より京都の国際日本文化研究センターにてポストドクター勤務

Q. 学園での経験はどのように活かされましたか。
A. 学園で日本語の豊かさを学ぶことができたことで、私は日本語を第一の母語と認識することができました。また、このことがその後の多言語学習や研究（英語、スペイン語、ポルトガル語、ラテン語）の礎となりました。さらに、日本語を他言語とを比較することが多くなり、比較文化研究の基礎ともなりました。

幼少の頃より日本語、日本文化を体系的に体験する機会がたくさんあることはもとより、学園ならではの素晴らしい先生たちや友人たちとの出会いは得難いものがあります。現地校に通い、宿題や課題をこなしていくだけでも大変なことです。それに加えて週末も通学することでご御苦労もあるでしょう。私自身もそうでした。それでも、いつか、NY育英学園に行って本当に良かった、と思えることがあると思います。

有馬 弥亜さん　Mia Arima



在籍年：2012〜2018年
全日制(現インター)　年少〜小3
現地校転出に伴い育英サタデーマンハッタン校に編入（小3〜中3）2025年4月Stuyvesant High Schoolから渋谷教育学園幕張高等学校に転校、
大学はアメリカに帰国予定

Q. NY育英学園を選んだ理由をお聞かせください。
A. [保護者]　両親が米国永住の日本人であるにも関わらず、全日制に入れたことで、当時は「英語が遅れるのでは」と周りから心配されました。ですが「まず親の母国語の基盤をきちんと築いてから英語を学ばせたい」との想いが成功し、今では日本生まれのお子さんと比べても遜色ない日本語会話力を持ちながらも、NY市有数の難関高校(Stuyvesant)に進学することができました。(同校にも育英っ子、沢山おります)　その後、高校で日本留学をどうしてもしたいと言い出し、現在は日本で両校、ひいてはアメリカと日本両国の架け橋となるべく勉強に勤しんでおります。
全日制で、現地校レベルの英語クラスで学習できたおかげで、小2の1学期に英検2級に合格できたのも良い思い出です。娘は3年生までしか全日制に通いませんでしたが、6年生まで居させれば良かったと思っております。

未来プロジェクト～海外日本人学校のリーダーとして

NY育英学園は、世界でもまれな独立系私立日本人学校として、独自の教育方針とカリキュラムを発展させてきました。グローバル時代における海外日本人学校のリーダーとなることを目標に歩みを続け、これからも未来に向け進化を重ねてまいります。

グローバル教育の質の向上・確保

- 日本および米国の教育機関との意見交換会の開催
- 各領域における専門家を集めたアドバイザリーメンバーを構築
- グローバル日本人学校シンポジウムの開催

グローバル体験の強化

- 地域コミュニティや現地の企業・団体との協業を一層推進

帰国前の準備のサポート

- 首都圏模試を学園にて開催
- 塾との提携による日本帰国準備コースを開講

教育のデジタル化促進

- AIの活用
- 最新テクノロジーを使った教育の推進

地域貢献

- 日本文化紹介
- 学園バザーの地域浸透
- 継承日本語 / 非日本人子供への日本語教育

異国の地におけるメンタルヘルス支援

- 文化や言語の違いの中で生じやすい心理的課題に対応する支援体制を整備
- 教師・保護者・子どもが連携し、安心して相談できる環境を構築







One Mind at Work と正式提携
コロンビア大学共同研究に基づくメンタルヘルス支援を導入

**ニューヨーク育英学園は2026年5月、
コロンビア大学との共同研究で知られる
世界的非営利団体One Mind at Work と
正式MOUを締結しました。
海外という特殊な環境に身を置く
子どもたち・保護者・教職員にとって、
精神的なウェルビーイングの支援は
教育の質に直結します。**

**まず教職員向けプログラムからスタートし、
段階的に生徒・保護者コミュニティへ
展開していきます。**

ONE MIND™
At Work



入園・入学・編入について

新年度の登録要項・出願要項は、毎年11月1日公開、12月1日より出願登録を開始いたします。
また、各部門において説明会を12月初旬に実施いたします。
学期途中の編入も、各部門において受け付けております。体験・見学も可能です。
詳細は、学園ウェブサイトをご覧ください。

お問い合わせ先

代表：(201) 947-4832　info@nyikuei.org

学園ウェブサイトはこちら

最新情報はYouTubeチャンネルで

ニューヨーク育英学園
Japanese Children's Society Inc.
8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ, 07632
Phone: (201) 947-4832　E-mail: info@nyikuei.org
https://japaneseschool.org